

企業分析研究室（地域文化創造系：観光文化・観光まちづくり領域）			
担当教員	梶原 太一		
学生による訪問可能時間帯	火曜 4 限～5 限、水曜 4 限～6 限、木曜 4 限～6 限、金曜 6 限	卒業研究の使用言語	日本語
<p>研究可能な領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成／職業選択／職業能力の発達に関すること ・企業研究、業界研究に関すること ・観光ビジネス（旅行業、宿泊業、土産品業、交通業、観光施設、観光協会）に関すること ・NPO（特定非営利活動法人、社団法人、財団法人、ボランティア団体など）に関すること ・企業文化、企業倫理、企業不祥事、企業の社会的責任（CSR、SDGs）に関すること <p>本研究室の対象は、企業（business organization）です。企業は、「民間」（non-governmental…政府ではない）で何らかの目的を掲げて活動を行う「組織」（organization…共通の目的を持つ2人以上の人間の集まり）を指す言葉です。企業の代表的な存在は「会社」（company）ですが、会社以外にも、たとえば病院や福祉施設・学校・宗教団体・各種協会・協同組合、クラブやサークル、自治会、ダンス&ボーカルグループなど、様々な姿で存在している組織が研究の対象となります。また、個々の企業の集まりとしての「業界」（industrial organization）も研究対象です。</p> <p>「分析」（analysis）とは、“細かくみる”という意味の言葉です。したがって、研究を進めていくと対象や範囲がどんどん絞り込まれていき、針の穴を除き込むような気持ちになっていくかもしれません。なるべく視野を狭めず、絶えず全体を見渡して相対化ができるように、研究室の他のメンバーが行なっている研究内容に関心を向けることを強く推奨します。</p>			
<p>卒業研究のテーマ例（過年度の卒業研究のテーマより）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県内で活動する会社／NPO／各種団体の実態調査 ・観光ビジネスとしてのアニメ映画聖地巡礼／負の遺産／クルーズ船／酒文化／四国遍路 ・道の駅／商店街／競馬場／新幹線／映画館／仁淀川／カフェなどの公共施設・集客施設の運営方法や存在意義 ・ネットショッピング業界／宅配業界／旅行業界／化粧品業界／アニメ映画業界／ゲーム業界／スポーツ用品業界／プロ野球業界／バー業界／ファストファッション業界／ライブハウス業界／eスポーツ業界／自動車塗装業界／新興宗教団体／ブラック企業の研究 ・特定の商品やサービスの研究（特定のアーティストやアイドルの魅力・成功理由／位置情報アプリ／観光アプリ／医療健康アプリ／猫／女性向け商品／食品ロス／同人作品） ・特定の職業の研究（公認会計士／セックスワーカー） …など 			
<p>方法</p> <p>ゼミでは、まず、「組織」に関する問題を論じた基本書を全員で輪読します。次いで、各自の関心に沿って、卒業研究のテーマを設定し、個人報告を進めていきます。</p> <p>卒業研究の研究方法は、社会科学分野（商学・経営学・経済学など）の基本的な手法を用いますが、①文献研究、②公表された情報の収集と分析（統計的検証含む）、③組織への訪問調査（事例研究）、④あるべき姿を探る規範研究、・・・といったいくつかの研究方法のうち、いずれかを、各自のテーマに照らして、選択することになるでしょう。</p>			
<p>備考</p> <p>主義・主張は問いません。</p>			